ふるさとの風土に学び
人がきらめき　人がつながる
おびひろの教育

令和５年度　教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書（令和４年度対象）

【概要版】

点検・評価の基本的な考え方

趣旨
〇目的　効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たす
〇根拠　地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条
〇取扱　報告書を議会に提出・市民公表

方法
〇帯広市教育基本計画の「個別施策」ごとに実施
〇取り組みの成果と、課題・今後の方向性の２つの観点から点検・評価

対象
〇令和４年度に実施した取り組み

学識経験者の知見の活用
〇学識経験者から意見・助言をいただき、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けて活用を図る

点検・評価の結果

基本施策１　帯広の明日を拓く力の育成

ー　１ ふるさと教育の推進　ー

成果指標の状況							
指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	44.7	39.4	48.8	49.6			60.0以上
中学校	39.1	38.9	41.1	42.9			55.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域資源を活用したふるさと理解の促進	〇「おびひろ市民学」において、郷土への愛着や誇り、地域社会の一員としての意識を育む教育を実施 〇各種教育施設の特色を活かした展示、各講座等を通じ、学びの機会を提供	〇郷土への愛着や誇りを育むため、「おびひろ市民学」による学びを継続して進めるほか、関係団体の新規協力の拡充を図る 〇地域資源や特色を活かしたスポーツ体験や動物、化学等に触れる機会を提供する
食を通じたふるさと理解の促進	〇地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供等を通じて、地域の食や産業への理解を促進 〇栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解の促進	〇「ふるさと給食」の提供等を通じ、地域の食や産業への理解促進に取り組む 〇栄養教諭や食育指導専門員による、「帯広らしい食育プログラム」を実施し、食を通じたふるさと理解を進める
地域社会に参画する意識の醸成	〇体験活動やリーダー研修を通し、地域や学校での活動に取り組む青少年リーダーの養成を実施 〇租税の役割や公共施設の整備についての理解促進のほか、小中義務教育学校における親子防災講座を実施	〇体験活動やリーダー研修を通じ、リーダー養成事業の充実を図る 〇消費者の権利や責任ある消費行動を理解し、計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の基本的な知識を身に付ける教育を進める
環境教育の推進	〇環境破壊や自然災害について、実社会との結びつきを意識した教育を実施 〇児童会館や百年記念館での展示・出前講座等により環境について考え学ぶ機会を提供	〇子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を提供する 〇帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を提供する

ー　２ 職業観の育成　ー

成果指標の状況							
指標名	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	93.6	93.8	95.6	93.8			100
中学校	94.6	95.6	95.5	96.9			100

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校におけるキャリア教育の推進	〇多様な職業の理解促進のため、外部講師を招いた授業を実施 〇一人一台端末を活用したオンライン工場見学やキャリア・パスポートを活用した系統的な指導を実施	〇社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上が図られるよう、指導・助言を継続する 〇キャリア教育の好事例について、学校間連携が図れるよう情報共有を進める
職業体験機会の充実	〇図書館、百年記念館、動物園での、インターンシップの受け入れ	〇各施設の特色を活かした職業体験機会の提供に継続して取り組む

ー　３ 情報教育の推進　ー

成果指標の状況							
指標名	授業でコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思う子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	87.4	81	－	－			90.0以上
中学校	73.8	79	－	－			80.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
情報活用能力の育成	〇ICT を活用した学習活動の実施向上のため、および GIGA 支援員による教職員向け研修を実施	〇実社会において情報がどのように活用されているか理解を深めるため、地元企業等と連携した ICT を活用した教育を進める
情報モラルの育成	〇著作権やプライバシーの保護等についての理解を促進するよう教育課程を編成。また、関係機関との連携による講演会の開催や販売店への立入調査などを実施	〇インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用等の啓発を行うほか、SNS の正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動を進める
プログラミング教育の推進	〇発達段階に応じたプログラム体験の実施等、プログラミング的思考や ICT を活用するために必要な資質・能力を育成	〇一人一台端末を活用したプログラミング教育を行う単元について、教育課程へ位置付けるとともに、中学校技術科において、企業による専門的な授業を開催する

ー　４ 国際理解教育の推進　ー

成果指標の状況							
指標名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H29～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	66.3	－	－	－			75.0以上
中学校	64.4	－	－	－			75.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	〇各学年段階のつながりを意識した系統的な指導を実施 〇発達の段階に応じた指導計画を作成し、外国語指導講師や国際交流員等を効果的に活用した体験的なコミュニケーション活動を実施	〇小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師を活用した授業に取り組む 〇外国語指導講師等との触れ合いを通じ、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上を図る
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	〇外国語指導講師や国際交流員との交流等を通し、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供	〇地域の施設や人材を積極的に活用し、体験的な活動を重視した国際理解教育を実践する

ー　５ 南商業高等学校における教育の推進　ー

成果指標の状況							
指標名	地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
－	26.7	15.7	16.6	17.6			50.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
商業教育の充実	〇商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習により、卒業までに全国商業実務検定の１級を３種目以上取得した生徒の割合が全道で最多	〇商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導に取り組むほか、多様な進路に対応した教育課程を編成する
地域経済に貢献する人材の育成	〇マナー講習会の開催、インターンシップ、各種模擬試験の実施等に取り組んだ結果、就職・進学ともに内定率 100%達成	〇外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や各種検定試験の学習支援を通じて即戦力となる人材育成の充実に取り組む
地域社会との連携・協働による教育の推進	〇学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動の改善を図る取り組みを推進。学校・家庭・地域が協働して子どもの健全な育成を図るため、学校運営協議会を開催	〇学校運営協議会から学校運営に対する意見をいただくほか、学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動の改善を図る
地域とつながる活動の推進	〇感染症流行により、地域住民向けの学校開放講座及びボランティア活動は中止	〇学校開放講座は、学校施設や人材の活用により地域住民に学習機会を提供できるよう、実施手法や内容を見直す 〇ボランティア活動は、感染症対策を継続しながら、主催者等と連携して取り組む

基本施策2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

― ６ 学びを生かす力の育成 ―

成果指標の状況							
指標名	授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H30～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	75.8	71.7	74.8	76.1			85.0以上
中学校	79.8	75.7	85.2	81.9			85.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校における授業の工夫・改善	○一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適な学びや協働的な学びを促進	○一人一台端末を子どもたちがより全体的に活用する授業を実践する
学習活動の支援	○常時ダウンロード可能な小中学生向け教材を教育研究所ホームページに掲載したほか、朝の読書や調べ学習等における「ぶっくーる便」の活用、放課後の学習会等を実施 ○学級閉鎖等により、登校ができない児童生徒の学びを保障するためオンライン学習等を実施	○一人一台端末で活用できる教材作りに取り組む。「ぶっくーる便」の計画的な入替により、子どもたちにとって魅力的な図書を提供する ○不登校児童生徒への学びの保障等、オンラインを活用した学びの充実を図る
教育課程の工夫・改善	○学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」を作成。一貫性のある教育が実施されるよう、エリアを中心として小中連携を推進	○目標の実現に必要な教育の内容等を、横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実を図る。適切な教育課程の編成と学習指導改善に資するため、「教育課程編成の手引き」を見直す
学力の分析・検証	○CRT 学力検査の分析結果をまとめた「帯広の子どもの学力」を全小中義務教育学校に配布し、各学校の授業改善を推進	○学力の実態や標準学力調査の特徴を総合的に分析し、指導方法の改善につながる事項を学校に示す
体験的・問題解決的学習の推進	○児童会館や図書館における、講座、講習会を開催。関係機関と連携したオンラインでの施設見学の実施	○図書館や児童会館において、学校のニーズを踏まえながら各種の学習機会を提供する

― ７ 豊かな人間性と創造性の育成 ―

成果指標の状況							
指標名	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	69.7	70.7	76.6	78.3			85.0以上
中学校	71.1	79.5	78.7	81.7			85.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
道徳教育の充実	○公開研究会等を活用した校内外における教職員向け研修の充実を図り、道徳科の授業改善を推進	○地域人材やゲストティーチャーの活用、他教科との関連や評価の充実等により道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性を育成する
読書活動の推進	○多様な読書機会を確保するため、おはなし会の開催や、各種ブックリストの作成、電子書籍の利用促進を通じ、学校と図書館が連携した取り組みを実施	○図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携を図るほか、電子書籍の利用促進を通して読書活動の活性化に取り組む ○「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成する
文化芸術活動の推進	○子どもたちの感性や創造力を育むため、各授業等で多様な文化芸術の体験的な学習を進めたほか、ＩＣＴを活用した情操教育を実施	○演劇鑑賞等の文化芸術に触れる機会を提供し、文化芸術活動を推進する。また、効果的な学習発表会・文化祭の在り方を検討し、子どもたちの情操教育を進める
体験活動の推進	○ＩＣＴを活用し工場見学をオンラインで実施するなど、空間的・時間的な工夫を通じ、「児童生徒が触れて学ぶ」体験活動機会を提供	○各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動を提供する

― ８ 健やかな体の育成 ―

成果指標の状況							
指標名	朝食を毎日食べている子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	94	91	92.1	91.7			100
中学校	93.6	94	92.9	91.1			100
指標名	１週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H26～H30平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	88.5	－	86.1	89.6			95.0以上
中学校	85.9	－	85.9	90.1			90.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
体力・運動能力の向上	○各学校における過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の検証し、授業への反映や生活習慣の見直しを推進	○体力向上推進プロジェクトチームによる各学校への派遣指導等を通じて授業改善等に取り組む
安全・安心な学校給食の提供	○安全・安心な地場産食材を取り入れた給食の提供のほか、学校給食食物アレルギー対応マニュアルに基づく取り組みを実施	○適切な栄養バランスを考慮した学校給食を提供するとともに、アレルギー情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組む
正しい「食」への理解の推進	○「朝食レシピコンテスト」を実施し、食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣を啓発したほか、栄養教諭や食育指導専門員を学校へ派遣し、食育を実施	○食育通信等の資料の配布や、帯広市食育推進部会による児童生徒と家族が一緒に朝食作りに取り組むイベント、食育講演会を実施
健康教育・健康保持	○学校保健委員会の開催等を通じた取り組みを働きかけたほか、学校の教育活動全体を通じたがん教育や体育・健康に関する指導を実施 ○衛生用品の購入等による学校環境の整備	○子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育を進める ○学校の感染症対策の取り組みを継続する

― ９ 教員の資質・能力の向上 ―

成果指標の状況							
指標名	授業の内容がよくわかると思う子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	82.6	83.1	84.8	83.8			90.0以上
中学校	74.8	71.2	79.4	79			80.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
教員の指導力の向上	○指導主事による学校教育指導訪問での、管理職や教職員への指導・助言。学力向上推進プロジェクトチームによる授業改善ワンポイント講座や、および GIGA 支援員による巡回支援	○受講率の向上を図るため、一人一台端末の活用や今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上につながる講座の企画に取り組む
教職員の働き方改革の推進	○教職員の勤務状況の改善等に向け、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第２期）」に基づき各学校と連携した取り組みを実施 ○令和５年２月より校務支援システムを導入し、操作等の研修会を開催	○教職員の業務効率化のため導入した、校務支援システムの活用促進や操作の定着を図る ○職員向け研修における、オンラインの活用や対面方式での実施等、教職員の負担軽減に向けた体制づくりを進める

基本施策３ 地域とともに育む教育の推進

― １０ 地域との連携・協働の推進 ―

成果指標の状況							
指標名	地域の行事に参加している子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	58.2	50.4	47.8	46.3			70.0以上
中学校	35.2	34.3	35.1	29.3			50.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域における支援体制の充実	○コミュニティ・スクールを新たに１２校で導入し、市内全ての学校に導入完了。コミュニティ・スクール通信の発行や他校の好事例を紹介 ○帯広市学校・家庭・地域協働会議における意見交換や地域コーディネーター等を対象とする研修会の実施のほか、基金を活用した団体同士の連携した活動を支援	○地域との熟議や協働による取り組みを進めるほか、指導主事による全国の好事例等の情報提供を進める ○学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等のほか、基金を活用してボランティア団体同士の連携した活動の拡大を図る
子どもの安全対策の充実	○登下校時の見守り活動のほか、災害情報や不審者情報、感染症関連の保護者等への速やかな情報提供のため、「帯広市子供安全ネットワーク」を活用 ○子ども１１０番の家を 996 箇所に設置	○地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、保護者がいち早く災害情報や不審者情報を得られるよう、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知を進める ○登録者の確保により「子ども１１０番の家」事業の拡充を図る
地域主体の体験活動への支援	○子どもの居場所づくり事業における、異世代交流や多様な体験活動を通した豊かな人間性や社会性の涵養（かんよう）促進	○子どもの居場所づくり事業を担うボランティア登録者数や参加児童数等が減少していることから、実施方法や PR 活動を工夫し、事業を継続する

令和５年度教育に関する点検・評価の概要

― １１ 家庭教育への支援 ―

成果指標の状況							
指標名	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	77.8	73.2	―	―			85.0以上
中学校	76.6	77.8	―	―			85.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
教育相談の充実	○家庭訪問相談員及び心の教育相談員を配置し、子どもたちの進路や学業不振、いじめや不登校等の子どもの教育に関する悩みについての相談に対応	○教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用を図るため、配置日数の調整等の工夫を進めるほか、相談業務の充実を図る
家庭教育力向上のための支援	○学校において起床や食事の摂取状況等の記録シートを配布し家庭への助言を実施 ○「食育通信」の配布等により児童生徒の家庭における食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣等を啓発。乳幼児健診時のブックリストの配布による保護者への啓発活動を推進	○学校では子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向け、「おびひろ市民学」を中核とした消費者教育、人権教育等様々な視点から啓発を進める ○家庭に向けて「食育通信」の配布や、図書館における絵本セットの内容の充実等の子育て世帯の支援を進める
ＰＴＡとの連携の促進	○学校の PTA 間における情報交換。帯広市ＰＴＡ連合会への補助金の支出やＰＴＡによる各種事業の後援等、PTA 活動への支援	○各校ＰＴＡや帯広市 PTA 連合会等との情報交換を進めるほか、関係団体への行政支援を継続する

― １２ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進 ―

成果指標の状況							
指標名	小・中学校９年間を見通した授業を行っている学校の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	19.2	19.2	19.2	32			100
中学校	21.4	21.4	14.3	30.8			100

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校間の連携の促進	○「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づく、職員間交流を通じた情報共有 ○「帯広市小中一貫教育推進基本方針」に基づく、小中学校の接続を意識した学習指導の促進	○幼保・小・中における教育実践への相互理解促進のため、各エリア内の授業交流や小中教員の部会による教育課題の共有等、学校種間の連携強化を進める ○小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成を進める
通学区域の見直しの実施	○帯広市小中学校適正規模の確保等に関する計画に基づく取り組みと併せて、通学区域の見直しの検討	○通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性等に配慮し、通学区域の見直しを進める

基本施策４ 安全･安心な教育環境の整備

― １３ 誰もが安心して学べる教育の推進 ―

成果指標の状況							
指標名	「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	96.2	97.5	96.4	96.8			100
中学校	94.2	96.8	96.2	96.7			100

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
いじめ・非行の防止	○いじめや人権について皆で考え議論する場を設けたほか、地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施	○いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学べる環境の整備のほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組む
不登校への対応	○不登校傾向の子どもや保護者からの相談対応や助言等のほか、適応指導教室の運営、一人一台端末を活用したオンライン授業等を推進	○教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化を進める
教育機会の確保	○経済的理由により児童生徒の就学が困難な保護者へ就学援助費を支給。奨学資金の貸与を通じて、大学等への就学を支援 ○農村地域の遠距離通学児童生徒向けにスクールバスを運行 ○市内高等学校の間口確保に向け、「公立高等学校配置計画地域別検討協議会」へ出席	○他地域の事例を参考にしながら、就学や通学に関わる経済的な支援を進める ○スクールバス安定的な運用のため、車両更新や運転手確保について検討する ○市内高等学校の間口確保に向け、会議等を通した情報収集や要望活動を行う
一人ひとりに応じた教育の充実	○特別支援学級の設置やアイヌ子弟の遠隔地での就学支援のため扶助費を支給。支援や配慮が必要な子どもたちの学びの環境整備。農村地域の小規模特認校制度の運用	○教育相談体制の確保と関係機関との連携強化を図るとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備を進める

― １４ 安全で充実した教育環境の整備 ―

成果指標の状況							
指標名	長寿命化改修の実施校数（校）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H30】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	0	0	1	1			9

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校施設の整備	○大空学園義務教育学校グラウンド整備、南町中学校の基本調査のほか、各学校における各種工事及び個別改修	○帯広市学校施設長寿命化計画に基づき計画的かつ継続的な修繕による学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善を行い、教育環境の整備を進める
学習環境の整備	○学校 ICT ヘルプデスクを通じて、一人一台端末を維持管理 ○南商業高等学校において、総合実践室情報処理機器を更新	○児童生徒が主体的に学ぶ力を育成するため、学校生活等における一人一台端末の活用範囲の拡大を進める ○南商業高等学校では商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得のため、情報機器等の環境整備を進める
学校適正規模確保の推進	○大空小学校及び大空中学校を統合し、令和４年４月１日より大空学園義務教育学校を開校	○学校の小規模化による影響の緩和を図る取り組みを進めるほか、児童生徒数及び学級数を毎年度推計し、結果について市民へ情報提供を行う

基本施策５ 自ら学びともに支える生涯学習の推進

― １５ 学習活動の促進 ―

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	95.5	96.9	93.5	90.8			100

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学習機会や情報の提供	○市民大学講座を 36 講座開催。生涯学習情報誌「まなびや」等の発行 ○図書館において、子ども向け講演会やプラネタリウムおはなし会を開催 ○百年記念館において、感染症対策を行いながら手法の改善を図り、博物館講座や郷土学習見学会を開催 ○動物園において、SNS を活用した情報発信のほか、飼育体験や裏側探検隊などの講座等を実施	○市民大学講座のオンライン配信や開催時間の工夫のほか、生涯学習情報誌により情報提供に取り組む ○他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に厚みのある事業に取り組む ○市民が参加しやすい工夫を事業運営に活かしながら、博物館ならではの講座の開催、展示の企画に取り組む ○講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、引き続き内容の充実を図る

― １６ 学習を通じたまちづくり ―

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	26.3	21.5	25.4	26.2			31.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
自主的な学習活動の支援	○図書館、百年記念館、動物園においてボランティアと連携した企画展や活動機会を提供 ○生涯学習推進委員会において、規模の見直しや感染症対策を行いながら「コミュニティ講座」開催	○図書館では、ボランティアとの情報交換等により、相互連携を深め、活動の支援を継続する。百年記念館、動物園のボランティア人員の充実に向けた支援を継続する ○生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援を継続する
地域の人材の育成・活用	○生涯学習指導者登録制度により、様々な分野において活躍する人物を指導者として登録	○生涯学習指導者登録制度の認知度や利活用頻度を高めるため、市ホームページやＳＮＳを活用して情報発信を強化する

― １７ 社会教育施設の整備・管理運営 ―

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	96.5	97.3	92.3	91			100

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○老朽化が進んでいる社会教育施設の修繕や設備の更新を実施	○公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○コロナ禍で中止していた事業について、新しい生活様式に則った方法で開催	○指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組むほか、効果的・効率的に管理運営を進める

基本施策6 人が輝く文化芸術活動の推進

― １８ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働 ―

成果指標の状況							
指標名	直近１年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	64.7	45.1	43.4	48.6			65.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
市民文化芸術活動の促進	○「市民芸術祭」や地元在住の若手芸術家にスポットを当てた展覧会「北の構図展」のほか十勝の大地を生きるアーティスト展を開催。とかちジュニア文芸第１３号と市民文藝第 62 号を発刊 ○市民の文化芸術活動支援のため、学校施設開放事業を実施	○市民の発表機会を提供する事業の継続のほか、「とかちジュニア文芸文章教室」の開催により子どもたちの創作意欲を高め、読解力・表現力の向上を図る ○市民の文化芸術活動支援のため、学校施設開放事業を継続する
文化活動団体の活動支援・指導者育成	○市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用した文化団体の情報提供 ○文化活動功労賞にて１団体の表彰のほか、事業補助による文化団体の活動を支援	○文化活動促進のため、文化団体等の活動情報の提供を継続する ○文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う
文化芸術の鑑賞機会の提供	○市民に良質な文化芸術鑑賞機会を提供するため、さまざまなジャンルの鑑賞事業を実施 ○市民が身近に芸術、文化に親しめる機会を提供するために芸術の鑑賞機会を提供。道立帯広美術館の特別企画展「銀の匙 silver spoon 展」に参画	○市民が文化芸術に直接触れる機会を提供 ○芸術鑑賞機会の提供のため、道立帯広美術館の特別企画展への参画を継続する

― １９ 文化資源の継承・活用 ―

成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数（件）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	2,161	1,728	1,638	2,021			2,269以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
文化財等の調査・保存・活用	○文化財の管理、及び史跡標示板の修繕を行ったほか、文化財や史跡を紹介するリーフレットを製作。重要文化財「八千代Ａ遺跡出土品」を活用した学校用教材を作成。十勝鉄道蒸気機関車４号及び客車コハ 23 号を公開	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行うほか、文化財の活用事業を継続し、「八千代Ａ遺跡出土品」の適切な保存及び積極的な活用のため、計画的な修理・美装化を実施する
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	○帯広カムイトウウポ保存会の伝承活動の支援のほか、伝統的生活空間（イオル）再生事業の実施	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動の補助及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存伝承団体への支援
市史資料収集・保存	○令和３年度の出来事をまとめた「年史報告書」の作成。収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座を実施	○「年史報告書」作成の継続のほか、令和１４年度の帯広市開拓 150 年・市制施行１00 年の周年事業を見据えた、資料収集事業に取り組む

― ２０ 文化施設の整備・管理運営 ―

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H26～H30平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	83	84.3	87.6	97			88.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○市民文化ホールの中央監視装置更新のほか、施設の機能維持向上に向けた施設整備を実施	○公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○市直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上を図りながら、効果的・効率的な管理運営を実施	○施設利用者数や使用料・利用料金収入は回復傾向にあるが、適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組む

基本施策7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

― ２１ 多様なスポーツ活動の促進 ―

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	21	18.1	17.6	16.5			22.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
スポーツの振興	○競技大会への選手の派遣支援等で、スポーツ振興及び競技力向上を図ったほか、スポーツ賞及びスポーツ奨励賞において個人・団体を表彰。各種全国・全道大会のほか、合宿・プロスポーツ等の誘致や開催支援を通して、市民へスポーツ観戦機会を提供	○競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進める
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○帯広市スポーツ協会への支援やスポーツ少年団指導者育成を支援	○活動時の安全確保に関する指導者への研修等を通して、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりを進める
スケート競技の振興	○スピードスケート競技のすそ野拡大を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」の実施や地域応援体制の整備等を通して、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興を推進	○スピードスケートをはじめとした各種競技スポーツの普及や、競技者人口の拡大及び競技力の向上に取り組むほか、ほっとドリームプロジェクト等を通して、スケート競技の普及促進に取り組む

― ２２ スポーツによる活力のあるまちづくり ―

成果指標の状況							
指標名	１年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R１】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	82.4	82	90.1	95.9			87.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域スポーツの振興	○スポーツ推進委員が中心となって実施する各種スポーツ教室を 48 回開催。地域住民が自ら企画・運営する６つの総合型地域スポーツクラブの運営を支援 ○市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しめるよう、学校施設開放を実施	○スポーツ教室の開催を通じて、より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに取り組む ○市民へのスポーツ活動の場を提供するため、学校施設のスポーツ開放に取り組む
スポーツ大会合宿等誘致	○競技団体との連携による各種全国・全道大会やプロスポーツ等の誘致及び開催支援を実施。フードバレーとかちマラソン大会の実地開催	○各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備を進める

― ２３ スポーツ施設の整備・管理運営 ―

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R１】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	77.3	82.7	80.4	93.9			82.0以上

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○帯広の森市民プールの改修や、各種改修工事等の施設整備を実施	○公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○民間活力を生かした指定管理者制度のほか、パークゴルフ場では指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営を実施	○多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組む